

# オルタナ

alterna

連載

田坂広志  
市場原理主義を  
超える  
「CSR」の潮流  
マエキタミヤコ  
ダイアログカフェで  
政策提言を  
流行らせよう

環境とCSRと「志」のビジネス情報誌

【特集】

## グリーン革命が始まった 「25%削減」は日本のチャンス



【オルタナパーソン】

櫻田厚

モスフードサービス社長

企業の繁栄は  
社員の幸せから

クルマの未来を  
メーカー5社が語る  
税・エネルギー・消費者が  
自動車業界を変える

#16  
Nov. 2009

## 廃ポリを国内で循環させたい

茨城県坂東市で、ゴミ袋などポリエチレンの袋を製造している岩井化成。レジ袋や容器包装など廃ポリエチレン（廃ポリ）を資源回収し、袋に戻す循環型リサイクルに力を入れる。

最近では、廃プラスチック類の輸出が増え、海外からも安く原料を調達できるようになった。しかし、同社は廃ポリの「地産地消」をモットーに国内で循環させるリサイクルを目指している。08年度の再生処理の実績は3253トンにもなる。

もともとはフィルムメーカーだった岩井化成。廃ポリからゴミ袋を製造するようになったきっかけは、6年ほど前、生活クラブ生協から、牛乳びんのプラスチックのふたをリサイクルできないかと相談を受けたことだった。そこでフィルム製造のノウハウを生かし、ゴミ袋製造を開始した。

また、農業用ハウスを再利用したエコマーク商品のゴミ袋「農強ダストバック」は、LCA（ライフサイクルアセスメント）でCO<sub>2</sub>排出量を算出したところ、バージン原料100%のゴミ袋製造に比べ、65%も発生量が少ないそうだ。リサイクルをうまく循環させるためには何が必要か。同社の環境管理責任者である鈴木泰代

取締役部長は、「出口の確保が重要」と話す。回収し、再資源化することは簡単だが、それを利用する出口がなければ、循環型リサイクルの実現は難しいという。

排出者によっては、ゴミの分別や洗浄が不十分なこともある。しかし、工場を見学してもらい、リサイクルの過程を「見える化」することで、廃棄物がゴミではなく、資源として認識してもらえるようになるそうだ。すべて有償で回収するのも、ゴミではなく資源、という意識を持ってほしいからだ。

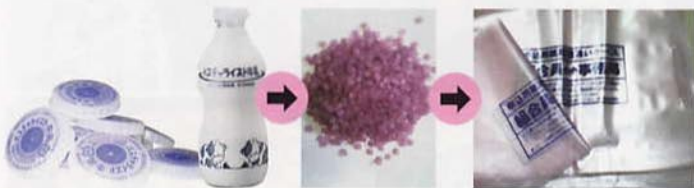
今年からは植林によるカーボンオフセットを始めた。カーボンオフセットの多くは、海外の植林事業などを対象にするが、同社は茨城県で排出したCO<sub>2</sub>を、筑



今年3月26日に「清風の森」で行われた植樹祭。ボランティア含む総勢80人のスタッフで、1ヘクタールの森に、ナラの木1500本、桜の木80本を植樹した

波山の麓「清風の森」と名付けた森でダイレクトにオフセットすることを目的とする。「農強ダストバック」製造時に発生するすべてのCO<sub>2</sub>吸収を目指している。

鈴木さんは、「eco検定合格を目指し勉強していくなかで、知識武装ができ、環境に関心の高いお客様とコミュニケーションが取りやすくなった」と話す。昨年に続いて、継続的な環境のシンポジウム開催を目指すなど、社外にも積極的に情報発信をしていきたいとしている。



牛乳びんのふたをリサイクルして作ったゴミ袋。少しピンクがかっている

### information

#### あなたの企業や団体で「エコユニット」に登録しませんか

eco検定試験を主催する東京商工会議所では、eco検定合格者（2名以上）が主体となって環境保全活動を推進する企業や団体、市民サークルを紹介・支援する「エコユニット」事業を実施しています。これまでに、約130社・団体でエコユニットが誕生し、活動を始めています。皆さんもぜひご参加下さい。申し込み方法などの詳細は、ウェブサイト (<http://www.eco-people.jp/unit/index.html>) をご覧下さい。

お問い合わせ

東京商工会議所検定センター

電話 03-3989-0777 (土日・祝日・年末年始を除く10:00-18:00)

ウェブ <http://www.kentei.org/>

#### 2009年度環境社会検定試験 (eco検定)

	試験日	申込登録期間
第7回	12月20日(日)	10月6日(火)～ 11月6日(金)

eco検定は受験者がのべ10万人を突破しました(2009年10月現在)。申込登録は、ウェブサイトまたは電話で受け付けます。

eco検定合格者限定  
オルタナ定期購読割引のご案内

オルタナでは、eco検定合格者に限定して、6冊分の定期購読料金を通常の3000円から2500円に割り引きます。ご希望の方は、お名前、住所、メールアドレス、eco検定合格者番号を明記の上、メールまたはファクスでお送り下さい。

FAX 03-3498-5373 メール [support@alterna.co.jp](mailto:support@alterna.co.jp)

(PR)